

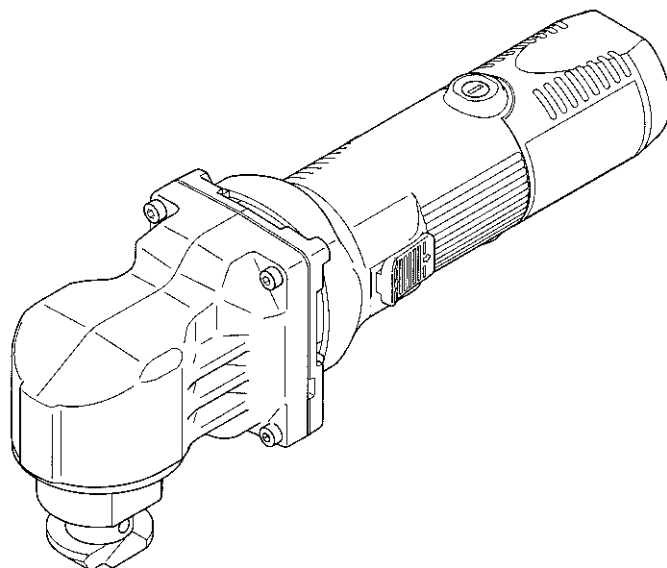
取扱説明書

■ご使用前に、正しく安全にお使いいただくために、この取扱説明書を必ずお読みください。

BURR CUTTER

バリカッター

型式：ERB-30



日本国内用

ブラシ付きモーター



アース不要
二重絶縁

《仕様》

型式	ERB-30
電源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力 [W]	170
定格電流 [A]	1.4
定格時間 [min]	30
無負荷回転数 [min^{-1}]	250
刃物取り付け径 (シャンク径) [mm]	Ø12
バリ取り穴径 [mm]	10 ~ 30
電源コード [m]	2
本体質量 [kg]	1.8 (コード含まず)
音圧レベル *1 [dB (A)]	87
音響パワーレベル *1 [dB (A)]	94
振動レベル *2 [m/s^2]	5.7

*1 測定規格 ISO15744 による

*2 手持ち工具の周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値測定規格 EN60745-1 による

この取扱説明書は、必要なときにすぐ見ることができる場所に保管してください。

・改良のため、仕様および形状等は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

はじめに

このたびは、日東工器の製品をお買い求めいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しく効率的に作業することをお願いいたします。
なお、この取扱説明書は必要なときにすぐに見ることができる場所に保管してください。

次の注意喚起シンボルの意味を十分に理解の上、この取扱説明書をよくお読みください。

警告： この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意： この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※「**注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注意： 製品の据え付け、操作、メンテナンスに関する重要な注意

目次

はじめに.....	ii	5 始動と停止.....	8
使用上の注意事項（必ずお守りください）.....	1	始動.....	8
《工具全般》.....	1	停止.....	8
《電動工具全般》.....	4	6 バリ取り作業.....	9
《本機に関する注意事項》.....	5	7 付録.....	10
1 用途.....	6	工具の保管.....	10
2 梱包内容の確認.....	6	保守・点検.....	10
3 各部の名称.....	6	異常が発生した場合.....	12
4 カウンタシンの取り付け.....	7	別売品.....	12

使用上の注意事項（必ずお守りください）

本機をご使用になる場合は、けががないように後述の基本的な安全対策を行ってください。

《工具全般》

作業される方へ

⚠ 警告

- **作業に適した服装をしてください。**

可動部分にからまると危険ですので、ルーズな服装や装飾品をつけて作業をしないでください。滑りにくい靴を履いてください。また長髪の方は、髪が完全に収められる保護帽を着用してください。

- **常に保護メガネを着用してください。**

視力矯正用のメガネは、保護メガネとはいえません。作業に適した保護メガネを着用してください。

- **防じんマスクを着用してください。**

作業で粉じんなどが発生する場合は、防じんマスクを着用してください。

- **集じん装置や集じん設備を正しく使ってください。**

集じん装置や集じん設備がある場合は、これらの装置が接続され、正しく使用されているか確認してください。集じん装置の使用は、粉じんによる危険を減らすことができます。

- **大きな騒音を発する場合は、耳せんを着用してください。**

- **無理な姿勢での作業はやめてください。**

適切な足場で、バランスのよい姿勢で作業してください。

- **油断せずに作業を行ってください。**

疲れているときは使用をやめてください。

工具を使用するときは取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況などを十分注意して慎重に作業してください。

- **作動中の先端可動部には、絶対に触れないでください。**

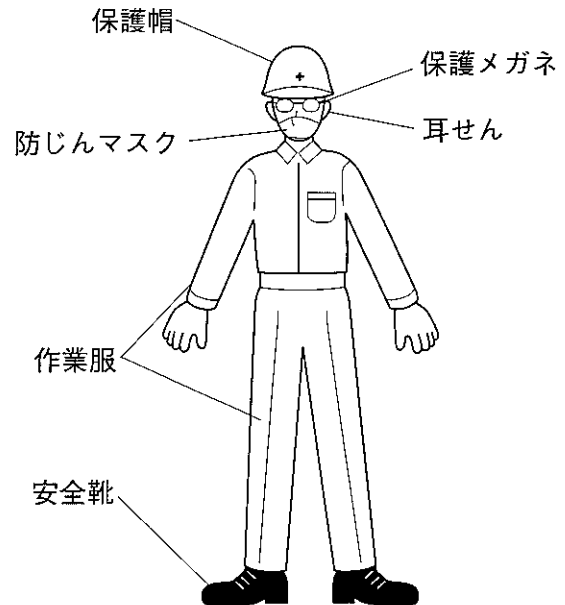
また、作動中の先端可動部を、人や動物に向けないでください。

- **工具の振動や反動に注意してください。工具の中には、相当の振動を感じるものがあります。**

作業の内容や工具の設定、長時間の作業によっては、手や腕、身体に大きな負担がかかります。

振動障害や腱鞘炎などのおそれがありますので、長時間の使用は避け、適度に休憩をとってください。

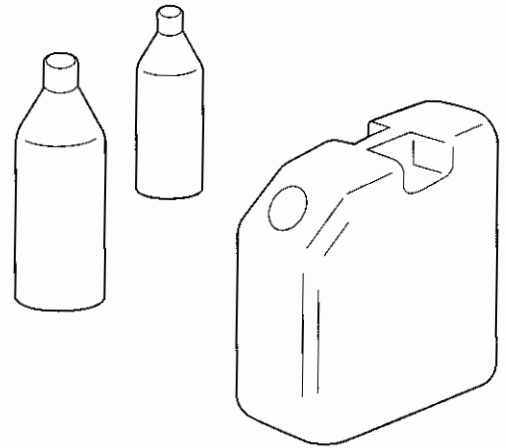
使用中に不快感や苦痛を覚えたときは作業を中断し、医師の診断を受けてください。



作業場所について

⚠ 警告

- **家庭で使用しないでください。**
本機は、プロフェッショナル工具（工業用、業務用の作業工具）です。家庭に持ち帰って使用しないでください。
- **作業場所は、きれいにしてください。**
散らかした場所や作業台での作業は、事故をまねきます。
- **作業場所に注意してください。**
工具を雨にさらさないでください。
湿った場所や濡れた場所で工具を使用しないでください。
作業場所は、十分に明るくしてください。
- **引火性の液体（シンナー、ラッカー、ガソリン等）の近くや、ガスなど爆発性の雰囲気での作業は絶対にしないでください。**
- **子供を作業場所に近づけないでください。**
子供や作業関係者以外の人を作業場所へ近づけないでください。
- **工具の中には大きな音を出すものがあります。**
各地の騒音規制に適合しているか、必ず確認してください。
- **高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。**
工具や材料を落としたときなど、事故やけがの原因となります。
- **作業場所に電線管や水道管、ガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。**
埋設物があると工具が触れ、感電や漏電、ガス漏れのおそれがあり、事故の原因となります。



作業前に

⚠ 警告

- **工具を使用する前に点検を行ってください。**
使用前に工具のねじなどがしっかり締まっているか、保護カバーやその他の部品に損傷がないか点検し、正常に作動するか、所定の機能を発揮するか確認してください。
可動部分の位置調整や締め付け状態、部品の損傷、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店またはお近くのサービス日東会加盟店に修理を依頼してください。
作動スイッチで始動・停止ができない工具は、使用しないでください。
- **先端工具は確実に取り付けてください。**
先端工具の取り付けが不十分だと、飛び出し、破損などでけがの原因となります。
- **調整後は、スパナやレンチなどを必ず取り外してください。**
- **適切な工具を使用してください。**
工具やその部品の能力を超えるような重作業はしないでください。また本来の用途以外で使用しないでください。
- **無理な使い方をしないでください。**
工具は仕様どおりに使うことで、効率よく安全に使うことができます。
- **加工物は固定してください。**
加工物はバイスやクランプで固定してください。加工物を手で持つより安全であり、両手で操作することができます。

取り扱いについて

⚠ 警告

- **工具の保管方法**

工具を使用しないときは、乾燥した場所に保管してください。また、子供の手の届かない場所に保管してください。

工具によっては、保管温度や湿度が決まっています。適切な場所に保管してください。

- **持ち運びに注意してください。**

工具の作動スイッチに手をかけて持ち運ばないでください。

- **工具を作動させたまま放置しないでください。**

作動スイッチを切って動力源から外し、完全に停止するまで作業場所を離れないでください。

- **工具が以下の薬品に触れないようにしてください。部品が劣化するおそれがあります。**

アセトン、ベンジン、シンナー、ケトン、エーテル、トリクレン、その他同類の薬品

保守・点検

⚠ 警告

- **分解や改造をしないでください。**

分解や改造を行った工具の使用は、事故やけがの原因となります。

- **先端工具・付属品などを点検してください。**

先端工具・付属品などは、工具に取り付ける前に損傷、劣化がないことを必ず確認してください。

損傷、劣化がある場合は交換、またはお買い求めの販売店またはお近くのサービス日東会加盟店に修理を依頼してください。

- **破損した部分がないか点検してください。**

付属品やその他部品が破損していないか、工具が正常に作動するか、適切に作業できるか十分に確認してください。

破損や作業に支障をきたす付属品や部品があったときは、お買い求めの販売店またはお近くのサービス日東会加盟店に修理を依頼してください。

- **専門店で修理を依頼してください。**

修理、または部品の交換は、お買い求めの販売店またはお近くのサービス日東会加盟店に依頼してください。

修理には専門の知識や技術が必要です。専門店以外での修理は十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

修理は故障した状態のまま依頼してください。破損した部品は捨てずに修理を依頼してください。故障原因を調査する重要な情報となりますので、手を加えないでください。

- **純正部品を使用してください。**

不適切な部品を使用すると事故やけがの原因となります。

純正部品に関しては、取扱説明書、カタログに記載されています。お買い求めの販売店またはお近くのサービス日東会加盟店にお問い合わせください。

- **工具についているラベル、銘板をはがさないでください。**

ラベル、銘板が傷ついたり、はがれたりしたときは、お買い求めの販売店またはお近くのサービス日東会加盟店に連絡し交換してください。

《電動工具全般》

⚠ 警告

- **使用電源は、必ずラベルまたは銘板に表示してある電源で使用してください。**
表示以外の電源で使用すると、故障や動作異常により、事故やけがの原因となります。
- **使用電源の電源変動率は定格電源の±10%以内、周波数は50/60Hzの正弦波電源を使用してください。**
使用前に、電動工具を接続する電源に、労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電遮断器が設置されているか確認してください。
- **コードを乱暴に扱わないでください。**
コードを持って工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
また、コードを加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、引っ張る、ねじる、束ねる、重いものをのせる、挟み込む、金属部に引っ掛ける等、コードに損傷を与えないでください。
- **コードを本体に巻き付けて保管しないでください。**
コードが損傷する原因となります。
- **コードと電源プラグを定期的に点検してください。**
損傷している場合は、電動工具の使用をやめてください。火災や感電の原因となります。
お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
市販のコードや電源プラグを加工して電動工具に取り付けしないでください。
純正のコードと電源プラグを使用してください。
- **電源プラグは、ホコリや金属物が付着していないか確認してください。**
電源プラグにホコリや金属物が付着しているときは電源プラグを抜いて、乾いた布で取り除いてください。
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- **電源プラグは、根元まで確実にコンセントへ差し込んでください。**
差し込みが不完全ですと、発熱したり、ホコリが付着して火災や感電の原因となります。
差し込みが不完全な電源プラグの刃に金属物が触れると、火災や感電の原因となります。
- **電源プラグは、ゆるみのあるコンセントに接続しないでください。**
火災や感電の原因となります。
- **アース付き工具は、確実に接地（アース）してください。**
接地（アース）されていない状態で使用すると感電の原因となります。
- **感電に注意してください。**
濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。
電動工具を使用中に、からだか接地（アース）されているものに接触しないようにしてください。
(たとえば、工場配管、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外装)
- **不意な始動は避けてください。**
電源プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- **準備および保守・点検を行うときはスイッチをOFF（切）にし、電源プラグを電源から抜いてください。**
- **先端工具の交換は、電源プラグを抜いて行ってください。**
- **電動工具を配線器具（延長コード、コイルドラム等）、電気設備に接続する場合は、その取扱説明書に従ってください。**
- **延長コードを使用する際は定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。**
- **屋外で使用する場合は、屋外用の延長コードを使用してください。**
- **誤って落としたり、ぶつけたときは機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
破損や亀裂、変形があると、感電やけがの原因となります。
- **使用中に本体が過熱したり、異常に気がついたときは、直ちに使用をやめて点検修理に出してください。**

⚠ 注意

- **工具はていねいに取り扱ってください。**
乱暴な取り扱いは、事故や故障の原因となります。工具を投げたり、落としたり衝撃を与えないようにしてください。

《本機に関する注意事項》

⚠ 警告

- 延長コードを使用する場合は、延長する長さに応じて線径を選んでください。

延長コード最大長さ	線径（導体公称断面積）
10m	1.25mm ² 以上
20m	2mm ² 以上
30m	3.5mm ² 以上

電源コードが長すぎたり、細いコードを長くコイルドラムに巻いたりすると、電圧降下をまねき、本来の機能を発揮できませんので注意してください。

また、延長コードを他の電動工具と併用して使用しないでください。

- 無理な使い方をしないでください。
故障、焼損するおそれがあります。
- 身体を切粉から保護してください。
高温の切粉が針状となって飛散します。
飛散した切粉が身体にかかってやけどをしたり、刺さらないように注意してください。また、切粉が衣服に付着しないように注意してください。
- 感電のおそれがありますので、雨中では使用しないでください。

⚠ 注意

- 当社純正のカウンタシンクを使用してください。
- より良い作業と安全のため、摩耗や破損したカウンタシンクは使用しないでください。

1 用途

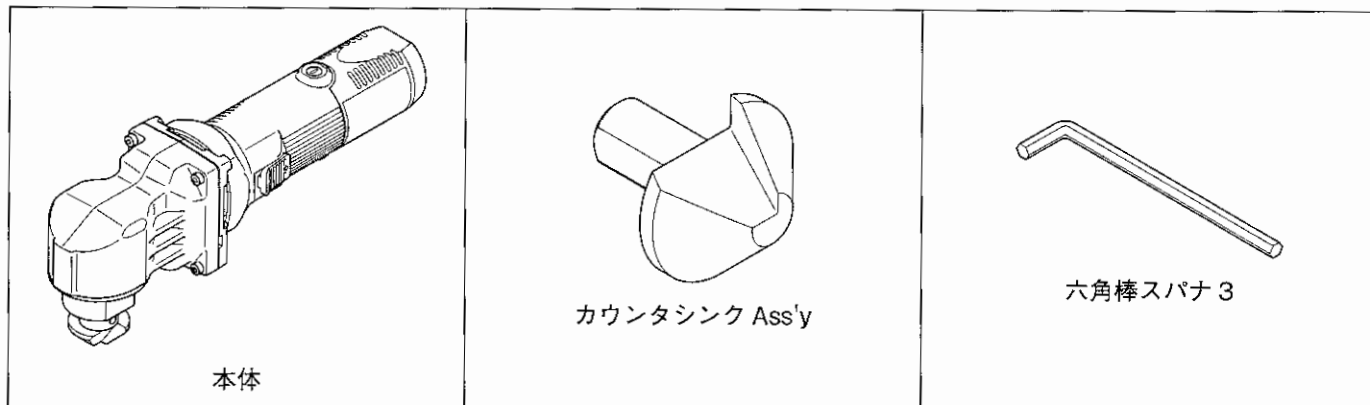
本機は、鉄鋼に穴を加工したときにできる穴バリを取り除くための、電動穴バリ取り機です。
先端がアングル型をしているため、狭い箇所の穴バリ取りに利用できます。

2 梱包内容の確認

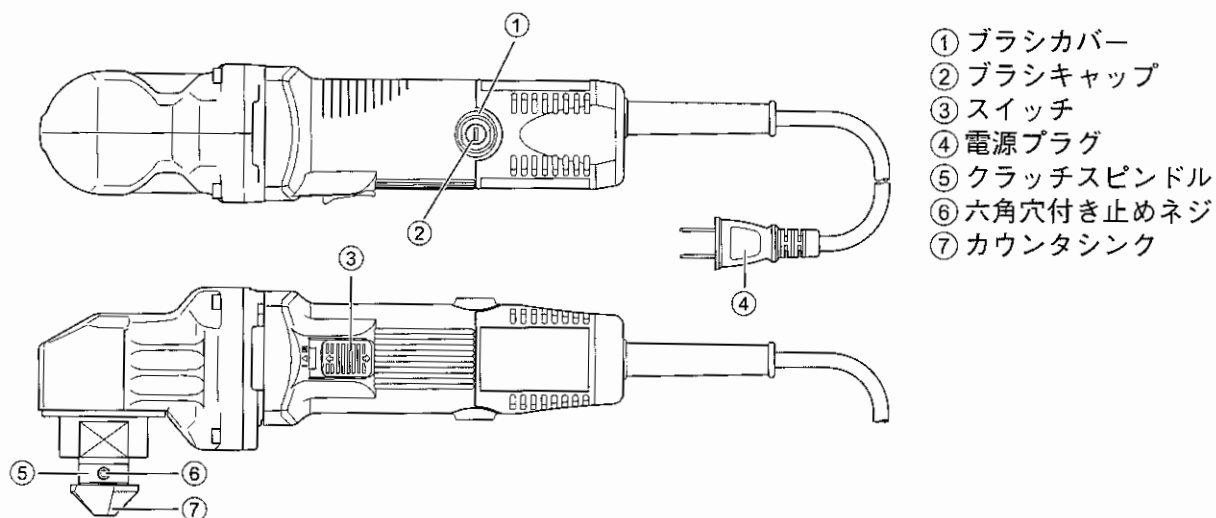
梱包箱を開封したら、梱包内容の確認と、輸送中の事故などにより製品が破損していないか確認してください。
万一異常が生じていた場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

梱包内容・付属品一覧

梱包内容・付属品	数量	チェック
ERB-30 (本体)	1	
カウンタシンク Ass'y	1	
六角棒スパナ 3	1	
取扱説明書 (本書)	1	
総合カタログ	1	
アンケートハガキ	1	



3 各部の名称

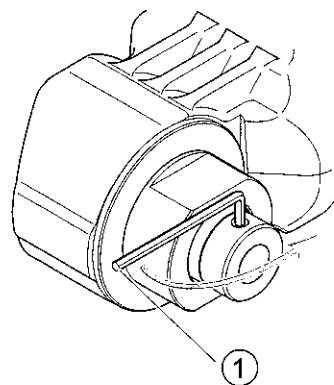


4 カウンタシンクの取り付け

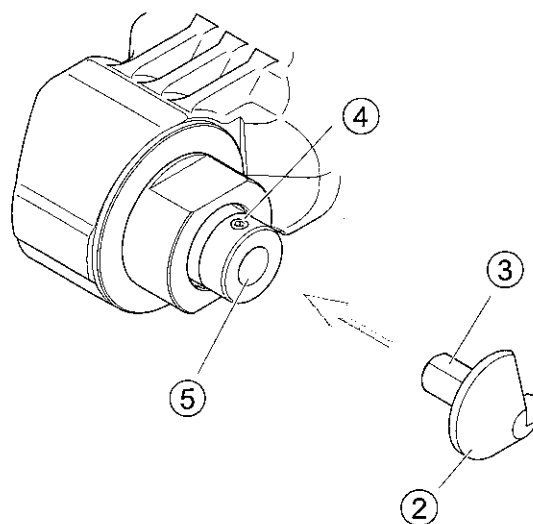
⚠ 警告

- カウンタシンクの交換・取り付け時は、スイッチを OFF (○) にして電源プラグを電源から抜いてください。
- カウンタシンクの交換・取り付け時は、手袋を着用してください。
カウンタシンクの刃先は鋭利になっています。手袋を着用して、交換・取り付けを行ってください。

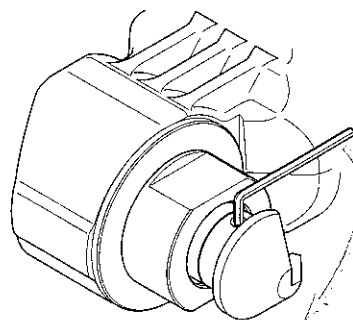
- 1 六角棒スパナ 3 (①) で六角穴付き止めネジ平先 6×6 をゆるめる



- 2 カウンタシンク (②) のフラット面 (③) を六角穴付き止めネジ平先 6×6 (④) の位置に合わせ、クラッチスピンドル (⑤) に突き当たるまで差し込む



- 3 六角穴付き止めネジ平先 6×6 を確実に締め付ける



5 始動と停止

始動

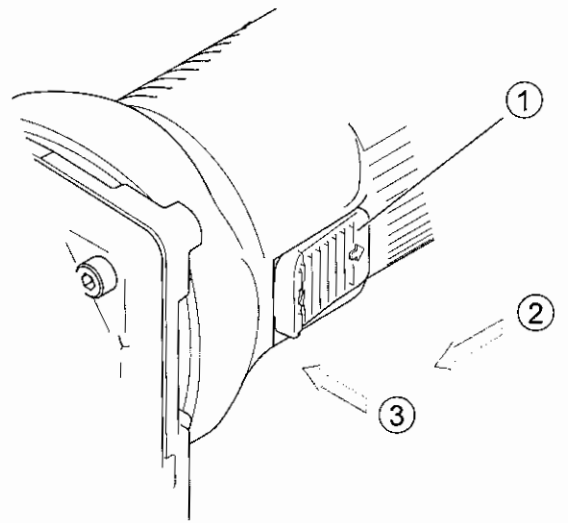
⚠ 警告

- 本機の電源プラグを電源に差し込む前に、スイッチが OFF (○) になっていることを確認してください。
- 電源プラグが電源に差し込まれているときは、カウンタシンクに触れないでください。

⚠ 注意

- カウンタシンクを加工物に押し当てた状態で、本機のスイッチを ON (|) にしないでください。

- 1 スイッチ (①) を先端方向 (②) にスライドさせながら、
本体側 (③) に押し込む
スイッチが固定され、モーターが連続運転します。
このときカウンタシンクは回転しません。

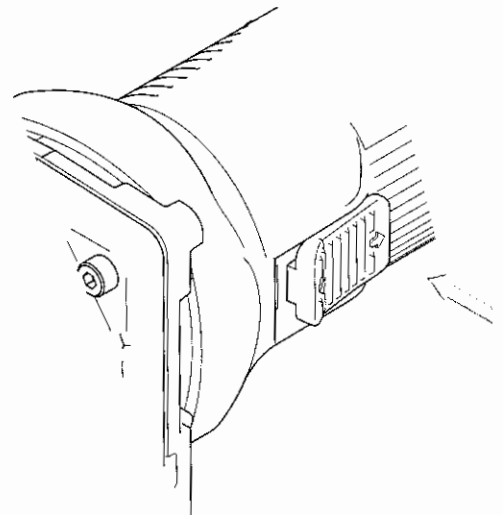


停止

⚠ 注意

- 必ず本機を加工物から離してから、スイッチを OFF (○) にしてください。

- 1 スイッチの後方側を押し込む
スイッチが OFF (○) になり、モーターが停止します。



6 バリ取り作業

⚠ 警告

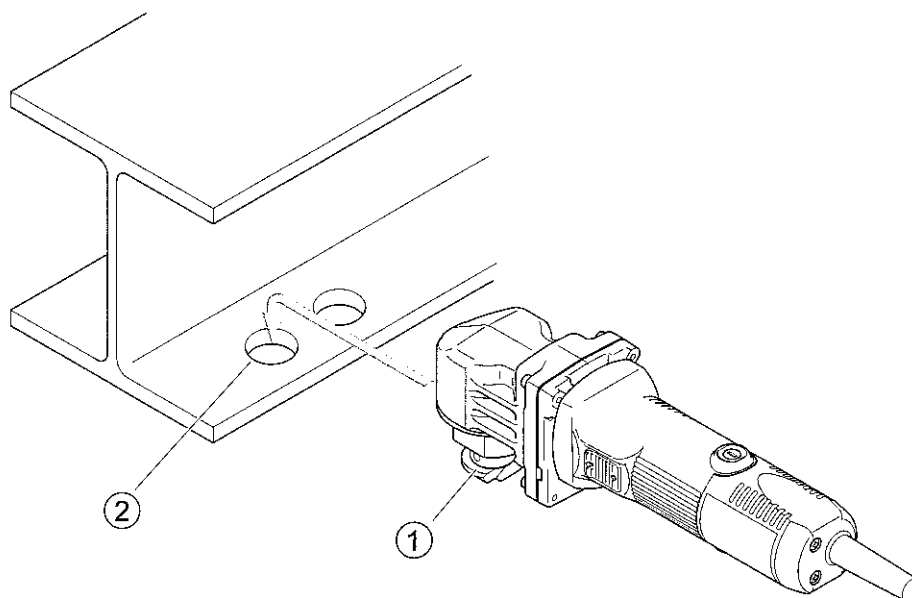
- 作業中は、必ず保護メガネを装着してください。
ホコリが多く発生する場合は、防じんマスクも着用してください。

⚠ 注意

- カウンタシンクを急に加工物に当てたり強く押し付けたりすると、刃こぼれを起こすなど、故障の原因になります。
- 加工物は、できるだけ固定して作業を行ってください。
- 加工直後はカウンタシンクが熱くなっているおそれがありますので、注意してください。

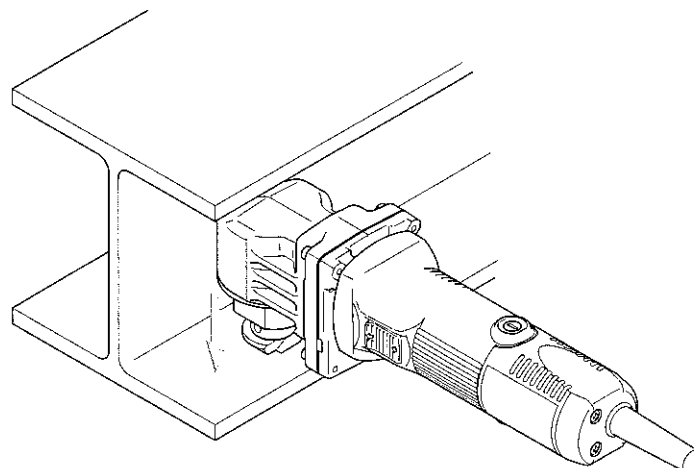
1 本機を手で持ち、スイッチを ON (|) にする

2 本機をしっかりと持ち、カウンタシンク (①) を加工する穴 (②) に合わせる



3 加工する穴に、ゆっくりと軽くカウンタシンクを押し付ける

カウンタシンクが回転し、バリ取りを開始します。



7 付録

工具の保管

⚠ 警告

- 工具を使用しないときは、子供の手の届かない場所に保管してください。

⚠ 注意

- 工具を使用しないときは、湿気の少ない場所に保管してください。

保守・点検

カーボンブラシの交換

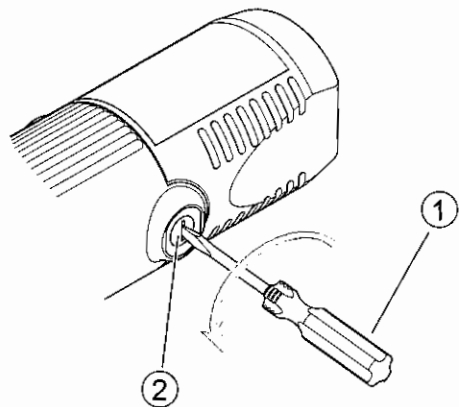
⚠ 警告

- 保守・点検は、必ずスイッチを OFF (○) にし、電源プラグを電源から抜いてください。

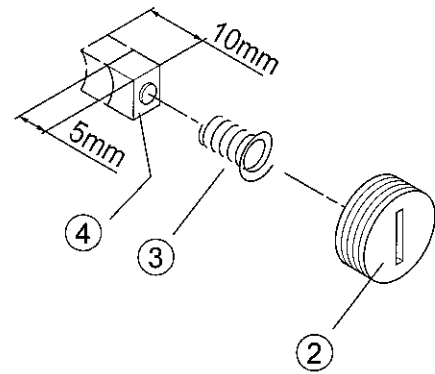
⚠ 注意

- 各部の取り付けねじがゆるんでいないか、定期的に点検してください。
ゆるんでいるところがあったら、締めなおしてください。
- カーボンブラシが摩耗していないか、定期的に点検してください。
カーボンブラシの長さが残り 5mm ほどになると整流が悪くなり、故障の原因となります。
- カーボンブラシを交換したときは、無負荷で 10 分以上の慣らし運転をしてください。

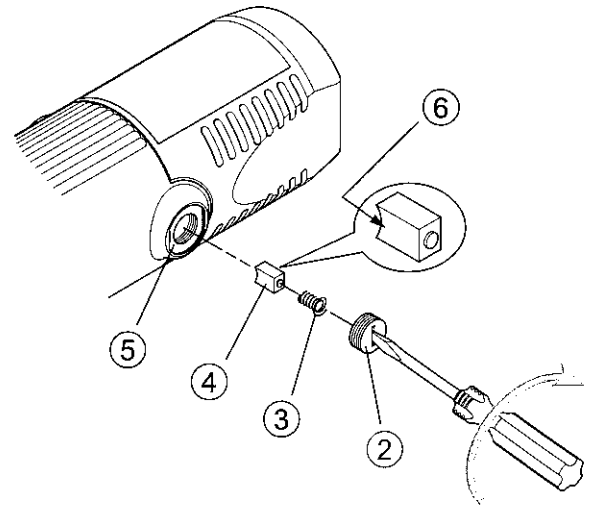
1 マイナスドライバ (①) でブラシキャップ (②) を外す



- 2** ブラシキャップ (2) とブラシスプリング (3) を外し、
カーボンブラシ (4) を取り出して点検する
長さが 5mm 程度になっていたら、交換します。



- 3** ブラシホルダー (5) にカーボンブラシ (4)、ブラシ
スプリング (3)、ブラシキャップ (2) を取り付ける
カーボンブラシは、円弧 (6) の向きに注意して取り付け
ます。



異常が発生した場合

⚠ 警告

- **自分で分解や修理は絶対にしないでください。**
破損や身体に危険をおよぼす原因となります。

以下の現象、またはそれ以外の現象が発生した場合、その他取り扱い上の不明点がありましたら、販売店または当社までお問い合わせください。

症状	調べるところ	対処
スイッチを ON () にしてもモーターが回転しない	カーボンブラシが摩耗していませんか？	カーボンブラシを交換してください。(p.10)
	電源プラグが電源に差し込まれていますか？	電源プラグを電源にしっかり差し込んでください。
	内部回路の異常が考えられます。	販売店またはお近くのサービス日東会に修理を依頼してください。
カウンタシンクが回転しない	六角穴付き止めネジ平先 6 × 6 が締め付けられていますか？	六角穴付き止めネジ平先 6 × 6 を確実に締め付けてください。(p.7)
	カウンタシンクのフラット面と、六角穴付き止めネジ平先 6 × 6 の位置が合っていますか？	カウンタシンクのフラット面と六角穴付き止めネジ平先 6 × 6 の位置を合わせてください。(p.7)
	内部回路の異常が考えられます。	販売店またはお近くのサービス日東会に修理を依頼してください。

別売品

ご購入は、お買い求めの販売店または当社にご連絡ください。

部品番号	品名
TB10036	カウンタシンク Ass'y (1 個入)